



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月13日

上場会社名 株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3387 URL <http://www.creatorestaurants.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 晴彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 川井 潤 (TEL) 03(5488)8001  
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	50,521	34.9	3,195	9.1	3,388	14.7	1,212	△11.2
26年2月期第3四半期	37,455	35.5	2,927	43.3	2,954	37.4	1,364	49.5

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 1,310百万円(△18.2%) 26年2月期第3四半期 1,602百万円(79.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	38.53	—
26年2月期第3四半期	47.08	—

(注) 平成26年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	42,812	9,908	23.0
26年2月期	35,819	9,332	26.1

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 9,859百万円 26年2月期 9,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	30.00	—	36.00	66.00
27年2月期	—	34.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	11.34	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成27年2月期(予想)期末配当金については、平成26年9月1日付の普通株式1株につき3株の割合で株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	31.4	4,300	16.1	4,500	18.5	6,800	275.4	216.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社 (社名) 株式会社YUNARI、除外 1社 (社名)  
株式会社上海美食中心

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年2月期3Q	31,574,214株	26年2月期	31,574,214株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	111,015株	26年2月期	110,865株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年2月期3Q	31,463,290株	26年2月期3Q	28,982,349株

- (注) 平成26年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が終了しており、平成27年1月9日付で四半期レビュー報告書を受領しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融政策や経済政策等の効果により、緩やかな景気回復への動きが見られたものの、消費税増税の延期や衆議院の解散総選挙の実施等の動向があり、先行き不透明な状況で推移してまいりました。

外食産業におきましても、懸念されていた消費税増税の影響は当初の見込みよりは限定的であったものの、人材不足や電気料金の値上げ、円安の進行に伴う原材料価格の高騰等、依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした環境の中、当社グループは、ホールディングスのプラットフォーム機能の強化を図るべく事業部体制の改変を実施し、品質、サービス等の店舗力向上に努めるとともに、新たに発足した人材育成チームを中心とした人材の育成強化並びに効率的な人員配置の実施及びグループ営業推進部による全てのグループ事業会社の業務をサポートできる体制づくり等を進めてまいりました。また、当第3四半期連結累計期間より、株式会社YUNARIの23店舗が新たに連結の範囲に加わる一方で、優良案件に絞り込んだ出店や商況の変化に合わせた業態変更及び撤退等の迅速な判断を行い、グループ全体では66店舗の新規出店、36店舗の撤退を実施した結果、当第3四半期末における店舗数は566店舗となりました。また業務受託店舗等を含めた総店舗数は577店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は50,521百万円(前年同期比34.9%増)、営業利益は3,195百万円(前年同期比9.1%増)となり、経常利益3,388百万円(前年同期比14.7%増)、四半期純利益1,212百万円(前年同期比11.2%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,666百万円増加し、10,607百万円となりました。この主な要因は、売掛金が1,315百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ4,327百万円増加し、32,205百万円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が2,002百万円、子会社の新規連結等により、のれんが844百万円増加したことによるものです。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債の残高は、前連結会計年度末に比べ6,417百万円増加し、32,904百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が増加したことによるものです。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ576百万円増加し、9,908百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の見通しといたしまして、当社グループに新たに3社が加わったことにより、更なる競争力強化を目的とした『グループ連邦経営』を推進させ、グループ事業会社の育成、経営人材の育成、本社機能の強化等に取り組むことにより、グループ全体として更なる成長を図ってまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね順調に推移していることに加え、連結子会社であるSFPダイニング株式会社の新規上場が承認され、当社が保有している株式に持分変動利益の発生が見込まれることから、平成27年2月期の通期の業績予想につきましては、平成26年10月10日に公表いたしました連結業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成27年1月13日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成26年4月30日付で株式会社YUNARIの全株式を、また平成26年11月28日付でR21Cuisine株式会社の株式(99.97%)を取得してそれぞれ子会社としたため、連結の範囲に含めております。

なお、R21Cuisine株式会社は、商号を「株式会社上海美食中心」に変更しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積り実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,253,119	6,337,575
売掛金	1,660,981	2,976,068
原材料	234,492	240,996
前払費用	418,709	491,866
その他	373,118	560,532
流動資産合計	7,940,420	10,607,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,402,902	11,405,551
その他(純額)	2,599,857	3,091,262
有形固定資産合計	12,002,760	14,496,813
無形固定資産		
のれん	9,369,001	10,213,816
その他	57,631	59,947
無形固定資産合計	9,426,633	10,273,763
投資その他の資産		
差入保証金	4,935,039	5,648,141
その他	1,514,289	1,787,170
投資その他の資産合計	6,449,328	7,435,311
固定資産合計	27,878,721	32,205,889
資産合計	35,819,142	42,812,928

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	1,407,913	1,812,898
短期借入金	3,527,658	10,332,948
未払金	1,617,099	2,496,556
未払費用	1,305,605	1,769,309
未払法人税等	843,502	844,843
賞与引当金	136,546	220,048
株主優待引当金	93,041	20,344
店舗閉鎖損失引当金	12,997	19,405
資産除去債務	67,086	69,133
その他	583,863	1,046,058
流動負債合計	9,595,315	18,631,546
<b>固定負債</b>		
長期借入金	14,308,908	11,392,877
退職給付引当金	155,111	177,875
役員退職慰労引当金	22,734	30,384
資産除去債務	1,365,511	1,509,711
その他	1,039,559	1,162,229
固定負債合計	16,891,824	14,273,078
負債合計	26,487,140	32,904,625
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,012,212	1,012,212
資本剰余金	4,576,030	4,576,030
利益剰余金	3,215,142	3,693,348
自己株式	△20,127	△20,323
株主資本合計	8,783,258	9,261,268
<b>その他の包括利益累計額</b>		
繰延ヘッジ損益	78	1,703
為替換算調整勘定	548,663	596,119
その他の包括利益累計額合計	548,742	597,822
少数株主持分	—	49,213
純資産合計	9,332,001	9,908,303
負債純資産合計	35,819,142	42,812,928

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	37,455,861	50,521,487
売上原価	10,300,863	14,090,530
売上総利益	27,154,997	36,430,957
販売費及び一般管理費	24,227,552	33,235,709
営業利益	2,927,445	3,195,248
営業外収益		
受取補償金	—	100,000
協賛金収入	174,446	210,248
その他	58,378	73,865
営業外収益合計	232,825	384,114
営業外費用		
支払利息	130,111	159,472
その他	76,091	31,603
営業外費用合計	206,202	191,075
経常利益	2,954,067	3,388,286
特別利益		
特別損失		
減損損失	235,090	503,238
固定資産除却損	95,897	47,087
店舗閉鎖損失	15,118	64,915
店舗閉鎖損失引当金繰入額	4,809	15,467
その他	28,764	7,269
特別損失合計	379,680	637,977
税金等調整前四半期純利益	2,574,387	2,750,309
法人税等	1,209,795	1,488,747
少数株主損益調整前四半期純利益	1,364,592	1,261,561
少数株主利益	—	49,213
四半期純利益	1,364,592	1,212,348

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,364,592	1,261,561
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	270	1,624
為替換算調整勘定	237,601	47,455
その他の包括利益合計	237,872	49,079
四半期包括利益	1,602,464	1,310,641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,602,464	1,261,428
少数株主に係る四半期包括利益	—	49,213

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

子会社による公募増資

当社の連結子会社SFPダイニング株式会社が、東京証券取引所市場第二部への新規上場に伴い、平成26年12月15日を払込期日として公募増資を実施しました。その概要は以下のとおりです。

1. 増資する連結子会社の概要

- (1) 商号 SFPダイニング株式会社
- (2) 本店所在地 東京都世田谷区玉川二丁目24番7号萩原第2ビル
- (3) 代表者 代表取締役社長 佐藤 誠
- (4) 事業内容 飲食店の運営
- (5) 増資前の資本金 48百万円
- (6) 設立年月日 平成22年11月17日
- (7) 当社出資比率 なし

2. 増資の内容

- (1) 発行株式数 普通株式 7,100,000株
- (2) 増資金額 12,809百万円
- (3) 増資後の資本金 6,452百万円
- (4) 払込期日 平成26年12月15日
- (5) 増資前の当社出資比率 93.50%
- (6) 増資後の当社出資比率 69.87%

3. 増資の理由

新規出店予定店舗の設備投資及び開業費用、財務体質向上のための借入金返済に充当するためであります。

4. 損益に与える影響額

平成27年2月期において特別利益として持分変動利益65億円を計上する見込みです。  
上記金額は概算であり、実際の持分変動利益は上記と異なる可能性があります。